



Windchill+及び Navigate for Windchill+サービス記述書

Windchill+ オファリング及び Navigate for Windchill+オファリング の使用には、[SaaS 基本契約](#)（以下「本契約」といいます）の諸条件のほか、以下の追加の諸条件が適用されます。以下に定義されていない大文字の用語は、本契約で定義されている意味を有します。

定義されている用語

「アクティブデイリーユーザー」は、任意の 1 暦日 24 時間以内にサービスにアクセスする固有のユーザーの数に基づいて使用許諾されます。例えば、あるユーザーがサービスに、月曜日に 3 回及び金曜日に 2 回アクセスした場合、当該ユーザーは、それぞれ月曜日及び金曜日について単一（1 つ）のアクティブユーザーとして数えられます。基準となる 24 時間については Navigate サーバーに設定されているタイムゾーンによって定義されます。

「デモ及びテスト」：「デモ及びテスト」又は「非生産」を原則として（又は同様の指定に基づき）使用許諾される製品であり、当該許諾ソフトウェアを生産環境において使用することはできません。

「キオスクユーザー」ライセンスは、Windchill Navigate と Windchill+において、1 台のデバイス（例えば工場の作業現場）の閲覧専用権限を持つ登録ユーザーとして扱うことができます。このライセンスは、複数の現場作業員用に個別の登録ユーザーアカウントを維持することを希望しないお客様による使用を目的としています。

「Per Environment（環境毎）」とは、当該製品のインスタンス数に基づいて契約されることを意味します。例えば、お客様が当該製品を含む本番環境のインスタンスを 2 つ持ちたい場合、2 つのライセンスが必要となります。同様に、お客様が当該製品を含む本番環境と 2 つの非本番環境を持ちたい場合、3 つのライセンスが必要となります。環境単位で契約されるオファリングは、品目の説明に「Per Environment」という文言があることにより識別されます。

「登録ユーザー」とは、本契約で定義された意味を有します。

データのエクスポート

サービス終了日が判明した時点で、お客様は最大 2 回のデータエクスポートを要求することができます：
(1) サービス終了日の前に、お客様の新システムへのデータの輸入をテストする目的でエクスポートする場合、及び (2) サービス終了日に最終的にエクスポートする場合。お客様はこのようなリクエストを PTC と調整するものとします。データエクスポートには、そのままのソフトウェア構成を別の環境に再展開するために必要な情報が含まれています。ただし、お客様は PTC と契約することにより、追加料金を支払って標準では提供されないデータエクスポートを追加することができます。PTC は、お客様のデータを最後の抽出から約 30 日間保管し、その後破棄します。この 30 日間は、お客様のご要望に応じて、アーカイブされたデータのコピーを 1 部提供することができます。正当な手続きに沿った Windchill データエクスポートの場合、データのエクスポート形式には、データベーススキーマのエクスポート、Directory LDIF のエクスポート又

は類似のユーザーリストのエクスポート、Enterprise LDAP LDIF のエクスポート、外部ファイルボールドのコンテンツのうち、該当する項目が含まれます。

アップデート及びアップグレード

PTC は、Windchill+ のアップデート及びバージョンのリリース日を製品リリースカレンダー (support.ptc.com/cs/release-calendar/index.html) で公開します。製品リリースカレンダーに記載されているリリース日は、該当するバージョン又はアップデートを Windchill+ のお客様が利用開始可能となる日付を意味します。特定のアップデート又はアップグレードの実際の適用時期については、お客様と PTC の間で計画し合意する必要があります。Windchill+ のお客様は、すべての新バージョンを採用するか、一つおきのバージョン（隔回のバージョン）を採用するかを選択できますが、いかなる時点でも標準サポート終了日を迎えたバージョンを使用することはできません。隔回のメジャーバージョンを採用することを選択したお客様は、セキュリティ更新プログラムを常に利用可能にするため、バージョンアップグレードの間にメンテナンスリリースを採用する必要があります。

バックアップ及び復元

システムの完全バックアップは毎日行われ、地理的に冗長な（Geo 冗長）場所に保管されます。本番システムのバックアップは 30 日間維持され、非本番システムのバックアップは 7 日間保存されます。PTC は、サービスを通じて削除された個々のファイルを復元することはできませんが、お客様のご要望に応じて、バックアップからシステムの完全な復元を行うことができます。

災害復旧

大規模なサービス停止が発生した場合、PTC は影響を受けるお客様と協力して、災害復旧プロトコルを実施すべきかどうかを判断します。必要な場合、本番システムの復旧時点目標（RPO）は 24 時間、復旧時間目標（RTO）は 5 日間とします。非本番システムは、すべての本番システムが完全に復旧した後、可能な限り迅速に復元されます。

セキュリティ及びデータプライバシー

本サービスのセキュリティプログラムに関する情報は、[PTC トラストセンター](#)に掲載されています。

本サービスの一部として収集されるデータに関する情報は、<https://www.ptc.com/en/documents/policies> にあります。

ユーザーID 管理

すべての Windchill+ オファリングでは、ユーザー認証にお客様が管理する Identity Provider (IdP) を使用する必要があります。お客様は、PTC Central Authentication Server (CAS) と IdP を統合するために必要な設定情報を PTC に提供する責任を負います。詳細については、Windchill+ Service Guide の Customer Onboarding > Basic Access and Configuration > Basic Access and Configuration の「Initial System Configuration」セクションを参照してください。なお、お客様が提供する IdP は 1 つのみ許可されます。追加の IdP は、お客様が Federated ID 管理を使用して統合することができます。

統合及びカスタマイゼーション

PTC は、PTC がホスティングすることについて本注文書式で具体的に合意されない限り、カスタマイゼーション又はカスタムアプリケーションをお客様用にホスティングする義務を負いません。<https://www.ptc.com/support/help-Saas/Windchill> に掲載されている Windchill+ Help Center には、許可されるコンフィグレーション、カスタマイズ、及び統合が明記されています。当該文書に記載されていないコンフィグレーション、カスタマイズ及び統合は許可されません。

バッチ

ユーザー数に基づいて使用許諾されるライセンスタイプ（登録ユーザーや同時ユーザーなど。ただしキオスクユーザーを除く）については、当該許諾製品又はそれによって生成された出力物、若しくはそこに含まれる機能又はデータ（以下「マテリアル」という）にアクセス又は使用する個人ごとに必要となります。これは、当該アクセス又は使用が直接的であるか間接的であるかを問わず、例えばウェブポータルを通じたアクセス、「バッチ」その他の手段によってサービス又はマテリアルへの間接的アクセスを実現する場合が含まれます。共通又は共用のログインは、マテリアルへのアクセス又は使用に関する使用許諾基準を回避又は違反する結果となる場合、認められません。例えば、サービスオフリングが登録ユーザー基準で使用許諾されており、登録ユーザーが登録ユーザーではない人物とパスワードを共有した場合、これは登録ユーザーライセンスモデルに違反するため、許可されません。同様に、お客様は、適切なライセンスを持つ自然人（人間）であるユーザーによって開始されるタスクを自動化する目的に限り、汎用のサービス用アカウントを作成することができますが、ライセンスを保有していないユーザーのためにタスクを実行する目的で作成することはできません。

上記の一般性を制限することなく、お客様が Windchill API Access を購入していない限り、お客様は、社内使用であるか外部配布であるかを問わず、サービスのアプリケーションプログラムインタフェースに（直接的か間接的かを問わず、お客様又は第三者が作成したアプリケーションを介する場合を含む）アクセスし、又は使用して、人工知能（AI）モデルのトレーニング、微調整、作成を目的としてサービスからデータを抽出したり、RAG（Retrieval Augment Generation）などの別のデータソースを構築したりすることは明示的に禁止されます。お客様が当該購入を完了した場合、当該 AI モデル又はデータソース（及びそれらから生成された集計データや派生データ）を活用又は使用するアプリケーションのすべてのユーザー（又は当該アプリケーションにアクセスできる者）は、(i)当該アクセス又は使用が直接的か間接的かを問わず、本サービスに関する個別のユーザーライセンスを取得する必要があります。また、(ii)各サービスの PTC がサポートする API のみを使用する必要があります。お客様は、サービスの構造、順序及び構成は独占的なものであり、著作権によって保護されていることを認め、お客様は、これらを複製してはなりません。明確にするために付記すると、本項に違反するいかなる行為も、本サービスに対するライセンスの違反とみなされます。

Windchill+

はじめに

本オフリングは、以下に示す PLM の包括的な機能を含む SaaS 環境をお客様に提供し、外部システム（ERP や CRM など）との統合をサポートします。オプション環境又はオプションサービスが別途購入可能です。

オフファリングに関する基本事項

Windchill+ は「登録ユーザー」単位での契約となります。購入可能な登録ユーザーのプロファイル（設定）の種類として、Viewer、Contributor、Author が定義されています。Author ライセンスのユーザープロファイルには、追加機能の役割ベースのライセンスタイプを追加することができます。各プロファイルでは、当該プロファイルによって使用権が付与される機能に対してのみ、割り当てられているユーザーにアクセス権が付与されます。お客様は、Windchill 本番環境のライセンスプロファイルにユーザーを割り当てる必要があります。ユーザーを適切なライセンスプロファイルに指定しない場合、超過料金が生じる可能性があります。ユーザーのライセンスプロファイルを別のプロファイルへと遡及的に変更することはできません。

標準的な権利

すべてのサブスクリプションには、1 つの本番インスタンスと 1 つの非本番インスタンスへのアクセス権が含まれています。非本番インスタンスは、購入時に追加することができます。1 つのサブスクリプションは、1 つの本番インスタンスのみを有することができます。例えば、互換性のない構成を必要とする異なる事業部門をサポートするために、お客様が複数の本番インスタンスを必要とする場合、それぞれに別のサブスクリプションが必要です。お客様は、すべてのインスタンスに適用される URL プレフィックスを指定する必要があります。また PTC が提供する利用可能なオプションのセットから非本番インスタンスの URL サフィックスを選択することができます。お客様が提供するドメイン名には対応していません。

パブリッシングの権利

お客様は、サポートされる Microsoft Office アプリケーション (support.ptc.com/cs/release-calendar/index.html で検索可能な、該当する Windchill+ バージョンのリリースマトリックスで指定されています) 用のパブリッシング機能を利用することができます。ただし、1 カ月あたり Author ユーザーあたり 300 パブリッシングジョブ（すべての Author ユーザーで測定）を上限とします。

お客様は、サポートされる Creo バージョン (support.ptc.com/cs/release-calendar/index.html で検索可能な、該当する Windchill+ バージョンのリリースマトリックスで指定されています) 用のパブリッシング機能を利用することができます。ただし、1 カ月あたり Designer ユーザーあたり 125 パブリッシングジョブ（すべての Designer ユーザーで測定）を上限とします。その他の CAD アプリケーションについては、お客様は、パブリッシングが必要なユーザー数および環境に基づいて、当該 CAD アプリケーションごとにパブリッシング容量を購入する必要があります。

この上限を超えて使用された追加のパブリッシングジョブ（Microsoft Office 用と CAD アプリケーション用の両方）は、契約年単位で超過分として請求されます。

「SaaS Windchill Migration Environment」を購入されたお客様は、マイグレーションによって生じた追加のパブリッシング需要は、当該ドキュメントの最新リリースバージョンでない限り、制限に算入されます。例えば、お客様がマイグレーションによって生じたパブリッシングジョブを持ち、そのジョブが該当するドキュメントの最新バージョンである場合、そのパブリッシングジョブは制限の対象とはなりません。

お客様が本サービスと共に第三者 CAD ソフトウェアを使用する場合、中立フォーマットのビューアブルを生成できるよう、本サービスと共に第三者ソフトウェアを PTC がインストールし、実行することが必要になります。この場合、当該の第三者ソフトウェアを PTC がお客様用にインストールし、実行するために、

お客様は、本サービスと同時に実行される第三者 CAD ソフトウェアが当該ソフトウェアのお客様のライセンスファイルにアクセスできるように、お客様のライセンスサーバーへの VPN アクセスを PTC に提供する必要があります。お客様は、PTC が当該第三者 CAD ソフトウェアを本サービスと並行してホスティングすることについて、第三者 CAD ベンダーから承認を得るものとし、PTC が当該アプリケーションを本サービスと並行して展開するために必要なすべてのインストールメディア及びファイルを提供するものとし、また、お客様は、PTC が要求する追加の承認書又は確認書に署名し、(i) お客様が、前述のパブリッシング機能を提供する目的で、PTC に対し、お客様に代わって当該第三者製 CAD ソフトウェアをインストール、運用、管理する権利を付与すること、及び (ii) お客様が PTC に当該権利を付与する権限を有することを確認しなければなりません。お客様が上記の要件を満たすことができない場合、お客様は、自社のインフラストラクチャ上に該当する CAD パブリッシングコンポーネントをインストール及び管理し、本サービスと当該 CAD パブリッシングコンポーネント間の接続を設定・維持する責任を負うものとし、このような構成において、お客様は、当該 CAD パブリッシングコンポーネントの可用性、稼働時間、セキュリティ、パフォーマンス、及び保守について単独で責任を負うものとし、パブリッシングのパフォーマンスに悪影響が生じる可能性があることを了承するものとし、

データストレージの権利

ボールドコンテンツ用データストレージ: お客様には、下表で特定されているとおり、役割（すべてのライセンスに渡って測定されます）に応じて登録ユーザーごとにボールドコンテンツ用データストレージの権利が付与されます。また、必要に応じて、ストレージの追加容量を 1 TB 単位で購入できます。お客様が使用权を持つストレージの総容量は、有効な PTC サブスクリプションのある、お客様の使用上の要件に対応するために PTC により割り当てられたすべての PLM SaaS 及びマネージドサービス環境（本番及び非本番）で共有されます。

ユーザータイプ	ユーザーごとのデータストレージの割り当て
Author (with Designer)	100 GB
Author	20 GB
Contributor	0 GB
Viewer	0 GB

データベースストレージ: Windchill+ サービスには、ユーザーごとのデータベースストレージの割り当て（Author は最大 2GB、Contributor は最大 1GB、Viewer には割り当てなし）が含まれ、お客様環境すべてにわたる総計で測定されます。お客様の割り当て分を超えるデータベースストレージの消費は、超過したストレージのその時点の PTC の定価に基づき請求されます。

追加ストレージ: お客様は、データ移行及び／又はシステム統合のために、追加のストレージ容量を購入する必要があります。

監査ログの保持期間: Windchill+は最大 90 日間の監査ログデータを保持します。お客様は、監査履歴に記録されるシステム操作（閲覧、削除、ダウンロードなど）を設定できますが、保存期間は設定できません。すべての監査ログデータは 30 日ごとに自動的にお客様の統合ストレージコンテナにエクスポートされ、お客

様がアーカイブ用にダウンロードすることができます。統合ストレージコンテナのデータ保存ポリシーは 7 日間です。

統合

Viewer 及び／又は Contributor ライセンスの購入には、Windchill+ 及び Navigate for Windchill+ 両方の標準機能へのアクセスが含まれます。詳細については、以下の「Navigate for Windchill+」セクションを参照してください。

Windchill+は、製品リリースカレンダー (support.ptc.com/cs/release-calendar/index.html) に記載されている該当する Windchill+バージョンのリリースマトリックスで定義されているとおり、他の PTC SaaS ソリューションとの統合をサポートします。

また、Windchill+は、OAuth を使用したセキュアな REST API を介して、ERP、MES、CRM、その他のクライアントなど、オンプレミスシステム（ハイブリッドユースケース）との統合をサポートします。OAuth 認証情報は PTC がホストする CAS サーバーで管理されます。いずれの場合も、外部システムとの統合は、適用されるすべてのライセンス条項及び条件に準拠している必要があります。

さらに、Windchill+は、Windchill UI 内の組込みマッシュアップを、Navigate for Windchill+オフアリングでのみサポートします。この機能はハイブリッド環境でのユースケースではサポートされません。

Windchill+ Development Environment

「Windchill+ Development Environment」とは、開発、設定、統合、及びテスト作業を目的とした、オプションの非本番環境です。Windchill+ Development Environment オフアリングは、環境単位で契約され、各環境につき、契約年度あたり最大 3,500 時間の稼働が含まれます。これは、お客様が指定したタイムゾーンにおいて、1 日 12 時間、週 5 日というデフォルトのスケジュールに基づいています。

お客様が Windchill+ Development Environment を 1 つ以上購入する場合、お客様は当該環境へのアクセスが管理者アクセスと同等であることを認め、当該環境に対して利用可能なすべてのセキュリティパッチ及びアップグレードを適用する責任を負うものとします。また、お客様は、当該環境のセキュリティ設定を変更する権限を有することを認識し、かかる変更が当該環境のセキュリティプロファイルに悪影響を及ぼす可能性があること、及び、PTC がかかる変更に起因するセキュリティ侵害又はインシデントについて一切の責任を負わないことを承諾するものとします。PTC は、当該環境に対してセキュリティパッチ／アップグレードを適用しません。お客様がこれを怠った場合、又はセキュリティ設定を変更した場合、PTC は、お客様が問題を修正するまで当該環境を無効化することができます。

Windchill AI

Windchill AI は、Viewer、Contributor、Author ライセンスを含む Windchill の基本ライセンスのアドオンとして、また PTC がお客様のためにホスティングする SaaS ソリューション（「Windchill AI SaaS」）として利用可能です。

Windchill AI オフアリングは登録ユーザー基準で契約され、登録ユーザー数及び契約年度中にお客様が使用する AI クレジット数に基づく消費制限の両方によって制限されます。

Windchill AI へのアクセスは、Windchill 内で登録ユーザーを所定の Windchill AI 権限グループに割り当てることにより有効化されます。お客様は、購入した Windchill AI ライセンスに対応する数の登録ユーザー数の

みをこの権限グループに含めることができます。例えば、お客様が 100 の Windchill ライセンス と 50 の Windchill AI ライセンスを保有している場合、Windchill AI 権限グループに追加できる登録ユーザー数は 50 名を超えてはなりません。ライセンス数を超えるユーザーを追加するには、追加の Windchill AI 登録ユーザーライセンスの購入が必要になります。

使用は、AI クレジットの消費量によっても制限されます。「AI クレジット」とは、Windchill AI を使用して一定数のアクションを実行するための利用枠を意味し、各アクションには、操作の複雑さや関与するデータ量に基づいて、一定数の AI クレジットが割り当てられます。各登録ユーザーに対し、契約年度ごとに 12,000 AI クレジットが付与されます。登録ユーザーに割り当てられた AI クレジットは、お客様が年間 AI クレジット総付与枠を超過しない限り、他の登録ユーザーが消費することもできます。未使用の AI クレジットは、各契約年度の応当日をもって失効し、翌契約年度へ繰り越されることはありません。お客様の年間付与枠を超える AI クレジットを消費した場合、超過分をカバーするために追加の AI クレジットを購入する必要があります。

Windchill AI は、PTC がホスティングするサービスとしてのみ提供されます。本契約に別段の定めがある場合であっても、お客様は、自社のコンピュータシステムに Windchill AI をダウンロード、インストール、又は稼働させる権利を有しません。

Windchill+ Medical Technology

Windchill+に適用される上記のすべての条件に加えて、Windchill+ Medical Technology オファリングには以下の追加条件が適用されます。

USDM Life Sciences は、GxP 業界で 20 年以上の経験を持つ信頼できる PTC パートナーです。詳細については、<https://usdm.com> を参照してください。

USDM Baseline Assurance Package は、Medical Technology 用の基準となる標準構成の事前設定済み SaaS ワークフロー及びそれらが使用する基本機能が、基準となる使用目的に対して期待どおりに稼働することを保証するために開発されました。本プランでは、PTC がお客様のために Medical Technology 用の SaaS 環境を構築する際に使用した展開プロセスも検証しています。Baseline Assurance Package は、お客様が FDA の 21 CFR Part 11 及びその他の世界標準のコンピュータシステム検証要件を満たす能力を促進します。

Baseline Assurance Package には、毎年更新される USDM Vendor Audit and Assurance Report（ベンダー監査・保証報告書）も含まれます。Baseline Assurance Package は、Windchill+ Medical Technology の基本ライセンスに含まれています。お客様固有の検証成果物は本オファリングには含まれず、お客様の責任で作成するか、USDM などの適格なサービス・パートナーと契約して作成する責任を負います。

ライフサイエンス企業は、ベンダーの製品やサービスを自社で使用する際、適用される規制要件に適合していることを確認する責任を引き続き負いますが、本 Baseline Assurance Package は、USDM が実施したベンダー監査の結果と併せて、PTC の手順を裏付ける文書化された証拠として活用することができます。

Windchill+ Medical Technology オファリングは、登録ユーザー基準で契約されます。購入可能な登録ユーザープロフィールには、Read & Approve、Contribute、Author という種類が定義されています。Medical Technology の役割ベースアドオンは、Windchill+ Medical Technology Author ライセンスと組み合わせてのみ

使用することができます。Windchill+ Medical Technology Author と Windchill+ Select Author のユーザータイプを組み合わせることは認められません。さらに、実質的に同等の機能について、Windchill+ Medical Technology ライセンスの代わりに Windchill+ Select ライセンスを使用することも認められません。疑義を避けるための例として、Windchill+ Technology Lite ライセンスを Windchill+ Design Control ライセンスの代わりに使用することはできません。

Windchill+ FedRAMP

Windchill+に適用される上記のすべての条件に加えて、Windchill+ FedRAMP オファリングには以下の追加条件が適用されます。

オファリングの定義

Windchill+ FedRAMP は、PTC が運用し、米国政府が認可したクラウド環境内に導入された、FedRAMP「中程度（Moderate）」の認可を受けた Software-as-a-Service（SaaS）サービスです。本サービスは、米国連邦政府、国防総省（DoD）、又は国防産業基盤（DIB）の規制要件の対象となり、管理された非格付け情報（CUI）又は輸出規制対象データを処理、保存、又は送信するお客様向けに設計されています。CUI へのアクセス権限を持つ役割を担うすべての PTC 従業員及び承認された第三者は、米国人であり、さらにその役割、アクセスレベル、及びリスクに応じた身元調査の対象となります。

Windchill+の FedRAMP オファリングは、連邦リスク及び認可管理プログラム（FedRAMP）の「中程度（Moderate）」ベースラインに従って評価及び認可されています。このベースラインは、NIST SP 800-53 セキュリティ制御フレームワークに基づいており、FedRAMP プログラムで要求される継続的なモニタリング及び独立した第三者による評価が含まれています。

規制上の背景

Windchill+ FedRAMP は、米国の防衛及び連邦サイバーセキュリティ規制の下でクラウドサービスプロバイダーに適用されるセキュリティ要件を満たすように設計されており、これには以下が含まれますが、これらに限定されません。

- DFARS 252.204-7012：保護対象防衛情報及びサイバーインシデント報告の保護対策
- DFARS 252.204-7019：NIST SP 800-171 DoD 評価要件に関する通知
- DFARS 252.204-7020：NIST SP 800-171 DoD 評価要件
- DFARS 252.204-7021：サイバーセキュリティ成熟度モデル認証（CMMC）レベル要件への受託者の適合

明確にするために付記すると、PTC は、お客様の CMMC、DFARS、又はその他の規制要件への適合を判断又は認証するものではありません。

責任分担モデル

Windchill+ FedRAMP は、FedRAMP 及び CMMC のガイダンスに準拠した責任分担モデルの下で運用されます。

PTC の責任には、以下が含まれますが、これらに限定されません。

- FedRAMP の Moderate ベースラインの認定を受けた SaaS 境界内における Windchill+ FedRAMP サービスの運用

- 該当する FedRAMP Moderate セキュリティ管理策の実装、評価、及び継続的なモニタリング
- FedRAMP 認定に関する文書、第三者評価、及び要求される継続的モニタリング活動の維持
- 認定されたサービス境界内におけるセキュリティ運用、脆弱性管理、インシデント対応、及び災害復旧
- FedRAMP で要求される、お客様責任マトリックス（Customer Responsibility Matrix、CRM）等の必要なすべての文書のお客様への提供

お客様の責任には、以下が含まれますが、これらに限定されません。

- 本 SaaS サービスにより提供されない、お客様固有のポリシー、手順、及び運用上の管理策
- ユーザーアクセスのガバナンス、データ分類、及び本サービスの適切な使用
- 該当する場合、評価及び確約を含む、必要な CMMC 認証活動の完了
- お客様固有の契約上、規制上、及びプログラムレベルの要件への適合

CMMC に関する考慮事項

FedRAMP の Moderate ベースラインの認定を受けた SaaS の使用のみをもって CMMC 認証が構成されるわけではありませんが、Windchill+ FedRAMP は、責任分担モデルに従うことを条件として、PTC の FedRAMP 認定パッケージにおいて継承されるものとして明示的に特定された技術的セキュリティ管理策を、お客様が継承することを可能にします。

お客様は、責任分担モデルで定義された範囲及び責任に従うことを条件として、PTC が提供する FedRAMP 認定文書を、自らの CMMC 監査の証拠の一部として活用することができます。

インターフェースセキュリティ契約の要件

お客様が、Windchill+ FedRAMP システムと PTC の管理境界外にある他のシステムとの間のインターフェースの実装を必要とする場合、NIST SP 800-53 CA-3 に従い、インターフェースセキュリティ契約（Interface Security Agreement、ISA）が必要となります。お客様が既存の ISA テンプレートを有している場合、PTC は当該テンプレートを使用するよう商業的に合理的なあらゆる努力を行います。そうでない場合、PTC は、お客様固有の詳細を記入するための事前入力済みの ISA をお客様に提供します。

Navigate for Windchill+

はじめに

Navigate for Windchill+は、Windchill+インスタンスに接続する SaaS ソリューションを提供します。追加料金を支払うことで、ERP や CRM など外部のオンプレミスシステム及びクラウドシステム（オンプレミスの Windchill システムを除く）との統合をサポートします。また、特定のビジネスニーズに対応するため、オプションサービス及び環境を購入することが可能です。

オフファリングに関する基本事項

このオフファリングは、登録ユーザー、アクティブデイリーユーザー又はキオスクユーザー単位での契約となります。キオスクユーザーライセンスでは、「View」プロファイルのみが割り当て可能です。登録ユーザー及びアクティブデイリーユーザーライセンスでは、View、Collaborate という 2 種類のライセンスプロファイルを割り当てることができます。各ライセンスプロファイルは、当該のプロファイルで使用権が提供される機能に対してのみアクセスを許可します。また、Collaborate プロファイルには、すべての View 機能への

アクセスが含まれます。お客様は、Navigate for Windchill+ の本番環境でユーザーをライセンスプロファイルに割り当てる必要があります。ユーザープロファイルが適切に管理されていない場合、超過料金が生じる可能性があります。その場合 PTC は、不適切に管理されているユーザーに関して責任を負いません。Navigate を使用する権限のあるすべてのユーザー及びグループは、関連する Windchill+ライセンスグループと関連付けられている必要があります。例えば、Windchill Navigate View ライセンスが割り当てられたユーザーは、PTC Windchill+ View 及び Print Only License Profile と関連付けられたグループのメンバーでなければなりません。

標準的な権利

各サブスクリプションには、1 つの本番インスタンス及び 1 つの非本番インスタンスへのアクセスが含まれます。追加の非本番インスタンスは別途購入可能です。統合は、含まれる環境ごとに、単一の Navigate for Windchill+インスタンスと単一の Windchill+インスタンス間で提供されます。お客様は、すべての環境にわたって、暦年あたり合計 12 回の指名サービスリクエスト（上限の対象外である Build Deployment を除く）をすることができ、追加購入のためのオプションがあります。Navigate for Windchill+オフリングでは、Navigate で生成又はアップロードされたすべてのコンテンツが Windchill+ データベース及びポータルに保存されるため、追加のストレージ又はパブリッシングの権利は要求されず、また提供もされません。

機能的能力

Navigate for Windchill+の View ライセンスでは、Windchill Navigate View アプリケーションにバンドルされるコンポーネントを通じて情報を表示する権利が付与されます。ユーザーは、Windchill Navigate アプリケーションにバンドルされている ThingWorx Navigate コンポーネント（マッシュアップ、ウィジェット、形状、テンプレート）を設定するために、ThingWorx Composer 及び ThingWorx の管理機能を使用することができます。Windchill Navigate を介さずに表示権限で Windchill+へ直接ログインする場合、利用できる機能は基本的な Windchill 機能に限定されます。これには、全文検索及びデータベース検索、キャビネット／フォルダー構造の参照、プロパティページの表示、非 CAD ファイルコンテンツのダウンロード、オブジェクトの印刷、Creo View での 3D 表示可能物の表示又は測定（マークアップ機能なし）が含まれます。

Navigate for Windchill+ Collaborate ライセンスは、Windchill Navigate View ライセンスに含まれるすべての機能に加え、PTC Collaborate License Profile に公開されたすべての機能をサポートします。

Windchill Navigate Base

このライセンスは、ユーザーに対し、ThingWorx Composer および ThingWorx Mashup Builder を使用して Navigate カスタムアプリケーションを作成し、PTC ならびに第三者のエンタープライズシステムに接続して、当該接続システムの情報を閲覧するとともに作成および更新する権利を付与します。カスタムアプリケーションの各ユーザーは、Navigate カスタム作成アプリケーションにより公開される接続システムのコンテンツに対して、表示・作成・更新の権限を有していなければなりません。例えば、Windchill に接続する Navigate カスタムアプリケーションを利用するユーザーは、当該カスタムアプリケーションの機能に応じて、このライセンスに加え、Windchill+における対応する View、Collaborate、または Author ライセンスを保有している必要があります。

Windchill Navigate Base ライセンスは、お客様がエンタープライズシステム（例：Oracle ERP、SAP、CRM システム等）に接続するため、また PTC の Windchill+製品に接続するためにのみ使用することができます。

Navigate カスタムアプリケーションを使用する Windchill+の各プロダクションインスタンスには、1 つの Windchill Navigate Base ライセンスが必要です。

制限事項

- Navigate for Windchill+ View ライセンスは、情報の作成又は編集、他システムへのデータエクスポート、PTC ソリューション以外からの情報取得、バンドルコンポーネントを超える統合の構築、又は物理デバイスへの接続は認められません。
- Navigate for Windchill+ アプリケーションはソフトウェアシステムへの接続のみに限定されます。物理デバイス（コネクテッド製品やウェアラブル（装着可能な）端末、生産機械及び物的資産などのデバイス並びにそれらのデバイスが接続されているあらゆるエッジサーバー又はサービスを含みますがこれらに限定されません）への接続は認められません。
- Navigate for Windchill+ アプリケーションは、お客様の社内生産施設やお客様の供給業者の生産施設に属している生産システム、生産プロセス、及び／又は生産作業に接続する目的で使用することはできません。
- Microsoft Azure IoT Hub は含まれていません。
- 標準に含まれる範囲を超える追加システムへの接続には、別途購入及び見積書での定義が必要です。
- アクティブデイリーユーザーライセンスは超過利用を認め、消費は契約ユーザー数に制限されません。ただし、キオスクユーザーライセンスは超過利用を認めません。
- Windchill+ オフアリングにおいて、Navigate をデータウェアハウスとして使用することは認められません。カスタムマッシュアップのメタデータストレージ用に、PTC がホストする追加データベースを追加料金で購入することができます。
- データベースへのファイル保存は認められません。